

渡部医院（コラム「まちの貴重な文化財」）

読みもの・コラム

投稿者：：

Posted on : 2021-12-14 0:00:00

広報ふらの・コラム「まちの貴重な文化財」No.6
12月号で紹介するのは近代洋風建築「渡部医院」です。



06 まちの貴重な文化財

渡部医院

1923年(大正12)建築 本町



世代を超えた「ふるさとの原風景」

富良野市博物館の展示室に渡部医院の模型があり、団体見学の小学生が「見たことあるよ!」と言うのをよく耳にします。富良野市街地のランドマークとして、98年間変わらず存在し続けてきた証といえるでしょう。富良野沿線で今やほぼ唯一の上質な近代洋風建築で、水平に横目地が通ったドイツ下見板の外壁や規則的に配置された上げ下げ窓など、モダンな洋風建築の要素が凝縮され人々の眼を惹きつけます。また正面玄関上、2階の窓枠に寺院建築に見られる擬宝珠に似た和風の飾りを付け、軒裏ブラケットの間隔を狭く配置するなど道内一般の洋風建築とは異なる要素も特徴です。歴史的建造物には、創建当時の技術やデザインなどが記録されていると同時に、まちの歴史と文化が深く、色濃く刻まれています。富良野に生まれ育った市民にとって、この病院建築は世代を超えた「ふるさとの原風景」であるはず。後世に遺し伝えたい建物の一つです。 ☎ 富良野市博物館 ☎ 42 - 2407

